

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2015 年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2016 年 4 月 15 日 提出

1. 研究課題名	
デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用 (英文標記: Organization and Utilization of Modern Printed Textile Research Materials through the Method of Digital Archiving)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
青木 美保子(あおき みほこ)	京都女子大学・准教授
3. 研究分担者 (合計: 5 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
並木誠士(なみきせいし)	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・教授、同大美術工芸資料館・館長
鈴木桂子(すずきけいこ)	衣笠総合研究機構・教授
上田文(うえだあや)	京都工芸繊維大学美術工芸資料館・研究員、関西学院大学・非常勤講師、同志社女子大学・非常勤講師
山本真紗子(やまもとまさこ)	日本学術振興会・PD
加茂瑞穂(かもみずほ)	衣笠総合研究機構・PD

4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>本研究は、学術資料として俎上に上がっていない近代染織史に関連する資料の整理・蓄積をすすめるものである。近代染織史を研究するための資料は散在し、かつ未整理のものが大半であり、基礎的な資料調査が必要不可欠な段階にある。一方、近代の染織産業については聞き取り調査も研究手法の有効な手段であり、文献資料には残らない情報を収集することができる。そこで、本研究では、近代染織研究に必要な資料整理や調査を進めつつ、資料・情報を蓄積していく場を構築し、情報技術を駆使してその共有化を進める。この資料・情報の整理・蓄積・共有化は、染織研究関係者と染織業従事者へ新たな交流の場を提供することとなり、延いては染織業の活性化を模索する足掛かりとなるであろう。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

1. 染織従業者らへの聞き取り調査と聞き取り記録のデジタル・アーカイブ
訪問調査を行い、現在の染織技法や過去の染織産業の状況を音声・動画・静止画により記録した。
2. 公開イベントの開催
展覧会「京都近代捺染産業の軌跡ーローラー彫刻の祖 武田周次郎とその後ー」を開催した。
3. 資料のデータベース化
大同マルタ会旧所蔵資料のデータベース化を進めた。
4. アート・リサーチセンター所蔵の資料調査
ARC Week 2015 で、ワークショップを開催し、長崎巖氏を招聘し、共立女子大学・長崎巖研究室と合同調査を実施した。
5. 糸・布・衣の循環史研究会との研究交流
糸・布・衣の循環史研究会と合同で、アーカイブ化に向けた大同マルタ関係資料研究会を開催した。
6. 展覧会および研究成果の報告書
展覧会及び研究成果報告の冊子を発行した。

6. 研究業績

(1) 著書

- ・『京都近代捺染産業の軌跡 ローラー彫刻の祖 武田周次郎とその後』、青木美保子、上田文、2016 年 3 月、英訳 鈴木桂子、全 27 頁
- ・角田奈歩、井上直子、杉浦未樹、竹田泉 監修、Keiko Suzuki. "Kimono Culture in Twentieth-Century Global Circulation," Linking Cloth-Clothing Globally:17th-20th Century Mapping. お茶の水女子大学 E-book サービス(刊行予定)

(2) 論文

- ・「大正・昭和初期における洋装下着の受容」青木美保子、2015 年 5 月・京都服飾文化研究財団・[服飾研究]Fashion Talks ...,・Vol.1、pp.10-15、査読無
展覧会評
- ・山本真紗子「近代着物研究発展の可能性ーメトロポリタン美術館の特別展『民族藝術』(民族藝術学会)32号、pp200~201、2016 年 3 月
- ・上田文「土田麥僊 斎田元次郎宛書簡について」『佐渡郷土文化』138 号、2015 年6月、pp.38-43、査読無
- ・上田文「土田麥僊 外狩素心庵宛書簡について」『佐渡郷土文化』139 号、2015 年 10 月、pp.7-13、査読無
- ・上田文「土田麥僊『松岳』時代の作品について(一)ー山水図を中心にー」『佐渡郷土文化』140 号、2016 年2 月、pp.32-37、査読無
- ・並木誠士「狩野派障壁画の宝庫」(展覧会図録『聖護院門跡の名宝』龍谷大学龍谷ミュージアム)2015年3 月、pp9-15、査読無
- ・並木誠士「酒飯論絵巻再考」(伊藤信博ほか編『酒飯論絵巻』影印と研究 文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺』臨川書店)2015 年 3 月、pp.180-198、査読無
- ・並木誠士「油彩からの撤退ー浅井忠の場合ー」(蜷川順子編『油彩への衝動』中央公論美術出版)2015年9 月、pp273-281、査読無

(3) 研究発表等

- ・ Keiko Suzuki, "Kyoto's Textile-printing Industry and Digitalization," Japanese Cultural Assets and Digitalization, Unterlinden Museum, France、査読無
- ・ Keiko Suzuki, "Present-day Katagami in Kyoto's Textile-printing Industry," International Symposium: Katagami in the West 『海外での「型紙」の姿』, University of Zurich (2016 年 3 月 18 日)、査読無
- ・ Mizuho Kamo, "Examining Digital Archiving Strategies of Katagami through the Prism of a Private Kyoto Collection," International Symposium: Katagami in the West 『海外での「型紙」の姿』, University of Zurich (2016 年 3 月 18 日)、査読無
- ・ Masako Yamamoto, "京都・型友禅の現状ー立命館大学の京友禅プロジェクトからみえてきたもの" International Symposium: Katagami in the West 『海外での「型紙」の姿』 University of Zurich, (2016 年 3 月 18 日)、査読無
- ・上田文「土田麥僊の初期作品ー「松岳」時代についてー」2016 年 2 月 27 日、「近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-」基盤研究(B)、平成 27 年度~30 年度(代表:並木誠士)研究会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 3 階比叡の間、査読無
- ・加茂瑞穂「友禅協会の図案募集」2016 年 2 月 27 日、「近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-」基盤研究(B)、平成 27 年度~30 年度(代表:並木誠士)研究会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 3 階比叡の間、査読無

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

- ・「アーカイブ化に向けた大同マルタ関係資料研究会」、京都工芸繊維大学、2015年8月4日、18名、糸・布・衣の循環史研究会
- ・展覧会「京都近代捺染産業の軌跡-ローラー彫刻の祖 武田周次郎とその後-」、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、2015年12月7日～18日、京都工芸繊維大学、期間中総入館者数447名
- ・研究会「百貨店が創り出す「きものファッション」-百選会を中心に-」、京都工芸繊維大学、2015年12月12日10名、糸・布・衣の循環史研究会
- ・加茂瑞穂・山本真紗子「伊勢型紙」Google Cultural Institute(Web展示・2016年1月26日公開)
- ・山本真紗子「和鏡」「京友禅(手描き友禅)」「京友禅(型友禅)」「花かんざし」「京つげ櫛」「西陣織」Google Cultural Institute(Web展示・2016年1月26日公開)

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

- ・「きもの文化と丸紅コレクション」青木美保子、2015年度新入社員集合研修会、丸紅株式会社(大阪)、2015.04.21
- ・「京都の販女文化-大原女さんの服装美-」青木美保子、展覧会「働く女性の衣装 大原女とあんこさん」、世田谷文化生活情報センター生活工房(東京)、2015年4月25日
- ・「大正末から昭和初期のファッション-着物文化にみる「洋」の受容-」青木美保子、シンポジウム「Think of Fashion in Kobe,日本の衣装 着物をめぐる4つの考察」(神戸)、2015年11月3日

(6) 受賞学術賞

(7) 科学研究費助成事業

- ・「日本における「美術」概念の再構築-語彙と理論にまたがる総合的研究-」基盤研究(A)、平成25年度～27年度、分担:並木誠士・青木美保子
- ・「近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-」基盤研究(B)、平成27年度～30年度、代表:並木誠士、分担:青木美保子、上田文、山本真紗子、協力者:加茂瑞穂
- ・「18～20世紀の糸・布・衣の廉価化をめぐる世界史」、基盤研究(B)、平成27年度～30年度、分担:鈴木桂子

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

- ・「糊流し染「マドレー染」の復活における記録と希少染色技法を活かした新たなものづくりの可能性と事業化について」代表:鈴木桂子、分担:並木誠士・青木美保子、2015年7月～2016年6月、文理融合・文系産学連携促進事業(参加者)

(9) その他

特になし